

アナログとデジタルの間には、深く暗い河がある

～がんばれジャパンネット銀行～

今、ふたたび注目をあびる
飛行船。

飛行船というと、過去のもの、というイメージがあると思います。[帝国ホテルが、飛行船ツェペリン号の機内食メニューを作る](#)ほど、飛行船というのは人気がありました。しかし、[ヒンデンブルグ号の炎上](#)が飛行船時代を終わらせます。

このようにして歴史の表舞台からは消えた飛行船ですが、開発は続き、今は安全な飛行船が開発されています。

飛行船の特長は、重量物、大きな物を輸送できることです。最近また、その飛行船の特長が見直されてきています。

どうしてTV局の放送ができない時に出るのはロボットなんだろう。

3 / 30にTBSが、トラブルで放送を2分間中断させました。ニュースは[こちら](#)。

私が子供の頃は、こんなことはよくありました。たまたま、TBSを見ていた私は、画面に釘付けになったのです。なぜなら、そこに映っていたのは、30年前と同じ、「ただいま、電波の具合が悪くなっております。しばらくお待ちください」というメッセージと、ブリキのおもちゃのロボットだったのです。

デジタル機器の壊れ方は
アナログ

皆さんもコンピュータが壊れたというご経験があると思います。コンピュータもある日突然壊れることもあります。たいていは、あれ、調子が悪いな、と思っていたら、段々と悪化し、最終的に起動もなくなる、というふうに実にアナログな振る舞いをします。

そして、明日、新しい機器に入れ替えようと思っていたら、壊れてしまったりするのです。まるでコンピュータがいじわるをしているかのように。

ジャパンネットバンク
システム障害

日本最初のインターネット専門銀行[ジャパンネット銀行](#)がシステムダウンをして、本日5 / 9の16時まで約22時間、取引ができない状態でした。当初から5月の連休中にシステムリプレースを予定していたということは、多分、それ以前に、機器の不具合を察知していたのでしょうか。しかしながら、「最悪の事態は必ず起こる」ということわざ通り、メンテナンス前の4 / 28にダウンしてしまいます。

連休中にシステムリプレースをしたということですが、新人がなかなか環境に溶け込めないように、

新しいサーバーは、なぜかうまく動かないものです。同様にメンテナンス後の事故として記憶に新しいものでは、[全日空のシステム障害](#)があります。

ジャパンネット銀行を
応援します。

コンピュータネットワークのおかげで、在宅でチケットを予約したり、振込をしたり、振込があるとメールが来るような便利さを私たちは手に入れました。しかしその一方でシステムの中核に障害が出ると、手も足もでなくなるのです。

ヒンデンブルグ号の事故で飛行船が注目されなくなったように、今回の事故で、インターネットバンキングをやめてしまっただけで時代が逆戻りしてしまいます。

ジャパンネット銀行が今回の障害を教訓にするのは、もちろんのことですが、トラブル時の対応や、復旧方法など、私たちが学ばなければいけませんし、利用者の方々には、科学技術発展の中の出来事として寛容な対応をお願いしたいと思います。

当社では銀行振込によるお支払を受け付けておりませんが、ジャパンネット銀行へのお振込という支払方法を採用することを決定*しました。微力ながらジャパンネット銀行の再出発を応援します。